

# Artist In Residence Program 2012 Report In SHODOSHIMA

**name** Jane Chang Mi  
(ジェン・チャン・ミー)

**genre** 現代美術

**date** 2012.4.1 ~ 4.30

## profile

### Education:

- 2009 School of Museum of Fine Arts, Post-baccalaureate Certificate, Boston, Massachusetts.  
2006 University of Hawaii, Manoa, Master of Science, Coastal Engineering, Honolulu, Hawaii.

### Exhibitions & Projects:

- 2011 -Seven × 11, Urban Institute for Contemporary Arts, Grand Rapids, Michigan. -Monitor 7, Sough Asian Visual Arts Center, Toronto, Canada. -Now Here and Nowhere, The Arts at Marks Garage, Honolulu, Hawaii. -An Exchange with Sol Lewit, MASS MoCA, North Adams, Massachusetts.

## 後援メッセージ

土庄町長 岡田好平

ジェン・チャン・ミーさんは、世界各地で作品展を開きながら、各地でフィールドワークを行い、そこから得たインスピレーションを写真や映像などを通し、現代美術として表現しています。特に、先日行われた写真についてのワークショップは好評で、多くの方が参加されておりました。小豆島の自然、環境及び地域住民との交流が、作品を通して多くの方に見ていただけるとともに、小豆島の地域振興につながることを期待しています。



▲滞在成果の作品



▲滞在成果の作品「ハナミ」(映像)

## Jane Chang Mi アーティストトークについて

オリーブ生活文化研究所 柳生 陽子

4月28日(土)、アーティスト・イン・レジデンス・プログラムで小豆島土庄町に滞在中の現代美術家、ジェーン・チャン・ミーさんのアーティストトークが土庄町立中央図書館で開催されました。今回はスペシャルゲストとして、圓滿寺の住職・瀬尾光昌師をお招きし、18名ほどの参加者をえて、公開対談が行われました。テーマは、「アートと仏教」。まずジェーンさんは、アメリカで生まれて幼少時代を台湾で過ごし、ハワイで育った生い立ちから語りはじめました。建築家の両親の影響から大学院で海岸工学を専攻し、「津波」の研究をおこなったのちにアーティストに転身したこと、そして仏教への目覚めとインドへの巡礼。また、戦後アメリカにおけるミニマルアート、ビート文学への禅の影響や、60年代以降の日本における「もの派」の芸術運動への関心についてもお話いただきました。ついで瀬尾住職は、インドで誕生した仏教が、その地ではやがてヒンドゥー教にとりこまれマイナー宗教と化し、ひるがえって日本では、外来のマイナー宗教としての仏教が、自然信仰や神道と習合しながら社会に浸透していった歴史をレクチャー。そのうえで、西欧キリスト教的な巡礼と四国・小豆島の「お遍路」のちがいについて、五輪塔のような仏塔にみられる石を積むという信仰について解説していただきました。

後半は、滞在終了報告展について。今回、ジェーンさんが小豆島で制作した「私の心を君の両手の中に」は、ミニマルアートや仏教的・アジア的な霊性への関心からうまれた、「積み石」を主題にするモノクロの写真作品です。この作品の背後からは、まさに、アジア世界を遍歴・巡礼したジェーンさんの具体的な旅の経験と、アジア系アメリカ人としてのルーツ意識や仏教を通じた内面的な探究の旅の双方を感じる、とゲストの瀬尾光昌住職が指摘。質疑応答の場では、小豆島における霊的な場所について、またインドにおける川岸での火葬の光景や「賽の河原」など生と死の境域としての川の意味について、興味深いやり取りがおこなわれました。



▲滞在中のワークショップや創作活動等の様子

## 私の心を君の両手の中に

Jane Chang Mi

アートビオトープとオリーブ生活文化研究所にご協力いただき、瀬戸内海に囲まれた小豆島の美しい風景、環境のなかで制作活動をいたしました。

この「私の心を君の両手の中に」というタイトルは 50 年代半ばから 60 年代に流行した「He's Got the Whole World in His Hands」というアメリカのフォークソングに影響を受けています。

石を積み上げ写真に収めた各作品は、日本の絶滅危惧種に指定されている動物とその想像上の生息地を意味し、その作品のはかなさは、生と死が いかに繊細なものかを表現しています。そしてそのはかなさゆえ、写真に収めその過程を記録いたしました。

また制作活動の傍らで、小豆島八十八箇所の巡礼を始めました。この島に点在する地蔵や五輪塔は、私のこころを揺さぶり、そしてこの世の奥深さを思い起こさせてくれます。

できることならもう少し瀬戸内の島々に滞在して、その美しさ神聖さを感じたいと願っています。滞在制作に際し、ご支援いただきありがとうございました。小豆島で過ごせた事を光栄に思います。

### I YOU HOLD MY HEART IN YOUR HANDS (2012)

The series title You Hold my Heart in your Hands was inspired by the American folk song He's Got the Whole World in his Hands, made popular in the mid 50's and 60's.

Each individual work corresponds to an animal that is on the Japanese endangered species list and a fictional habitat. As the sculptures were ephemeral, highlighting the delicateness the life and death, photographs were taken to document the process.

As I have started my pilgrimage of the 88 temples in Shodoshima, I am similarly moved by the stone jizo and gorinto that dot the landscape - a constant reminder of the profundity in the world.

It is my hope that I will spend more time on these islands and experience their beauty and sacredness. Thank you for having me; it was an honor to spend time here.



▲滞在成果の作品



▲修了展の会場風景

## Jane Chang Mi 女史 修了展によせて

AIR ディレクター 富田勝彦

4年目を迎えましたNPO法人アート・ビオトープ、NPO法人オリーブ生活文化研究所共催「アーティスト・イン・レジデンス2012公募プログラム」。2011年からは、アート・ビオトープ那須は「陶芸、ガラス、写真、映像、舞踊」、アート・ビオトープ小豆島では「絵画、彫刻、染織、陶芸、映像、演劇、舞踊」とジャンルを広げて公募しました。

今展は、4月2日USA・ハワイより参加しましたJane Chang Mi 女史の成果を発表する修了報告展です。これまで滞在した本プログラム作家は、単独ジャンルで制作する作家でしたが、Jane 女史は現代美術家です。その場で感じたもの、ことから考えジャンルにこだわらず表現しています。これまでも世界各地に滞在し、写真、映像、インスタレーション、ミックス・メディアといった作品を創ってきました。“仏教徒であると自称するJane 女史は、まず巡礼し、地霊を感じたい……”と来日しフィールドワークを開始しました。

宗教は、その国の文化にも大きな影響を与えています。原始宗教から興った我が国の神道は、仏教伝来以降、習合されそれぞれ形を変えていきました。アジア諸国の単一宗教国とは、違った特徴があります。Jane 女史は、小豆島を巡り小豆島八十八か所霊場を巡礼し、感じた疑問を投げかけてきました。私は、それに答えつつ日本文化、アジアと日本の宗教観、日本仏教のカタチ（デザイン）などを伝えてきました。私にとっても大変刺激的な有意義な時間でした。

小豆島に滞在し瀬戸内の自然、環境、作家同士、地域住民との交流、刺激、そして影響も作品に反映されています。まさに小豆島の“地の利”から生み出された作品です。

この滞在制作（アーティスト・イン・レジデンス）の成果をご高覧ください。



▲滞在成果の作品



▲滞在中の創作活動等の様子